



第57期中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



株式会社 **エクセディ**

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに、第57期中間報告書（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）をお届け致します。

株主の皆様には、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月

ごあいさつ	1
営業の概況	2
部門別の紹介	3
企業トピックス	5
財務データ	6
連結貸借対照表の要旨	7
連結損益計算書の要旨／連結キャッシュ・フロー計算書の要旨	8
連結株主資本等変動計算書の要旨	8
貸借対照表の要旨	9
損益計算書の要旨	10
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式データ	11
株価・出来高の推移／株主優待制度	12
工場・営業所及び関連会社所在地	13



取締役社長
清水 春生

営業の概況

①当中間期の概況

自動車市場におきましては、原油価格の高騰を受け、従前にも増してエネルギー効率の良い車両への需要が高まっており、日系自動車メーカーは、燃費性能の優位性から米国をはじめ海外での市場シェアを増大させております。他方で、鉄鋼・アルミニウム・銅等の素材価格の高騰は自動車関連産業の収益を圧迫しており、より一層の原価改善が喫緊の課題となっております。

このような環境の中で、当社グループは、国内及び米国においては自動車メーカーのアウトソーシングが進むAT（自動変速装置関連）事業に、市場拡大の進むアジア地域においてはMT（手動変速装置関連）事業に注力し、経営基盤の拡大に努めてまいりました。

この結果、当中間期においては、主として国内におけるAT事業の受注が増加したこと、アジア・米国事業も堅調に推移したこと、売上高は813億円（前期比10.7%増）となりました。営業利益は、鋼材価格の上昇に伴う調達コスト、受注増加への対応コスト等の増加もありますが、売上高の増加と徹底したコストダウン活動により80億円（前期比18.0%増）、経常利益は82億円（前期比14.9%増）、中間純利益は48億円（前期比15.0%増）となりました。

(セグメント情報)

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

[MT事業]

国内では前年同期比横バイで推移いたしました。アジア地域においては売上が増加し、その結果、MT事業としての売上高は253億円（前期比3.7%増）、営業利益は33億円（前期比14.2%増）となりました。

[AT事業]

主として国内自動車メーカー及びトランスミッションメーカー向けの受注増加により、売上高は482億円（前期比13.5%増）、営業利益は38億円（前期比4.4%増）となりました。

[その他事業]

バイク用、建設機械用の受注増加により、売上高は107億円（前

期比14.8%増）、営業利益は11億円（前期比102.0%増）となりました。

所在地別セグメントの概況は次のとおりです。

[日本]

国内では、トランスミッションメーカー向けAT用製品の販売が増加しており、売上高は633億円（前期比9.3%増）、営業利益は53億円（前期比14.8%増）となりました。

[米国]

米国メーカーの不振はあるものの、日系メーカー向けの受注増加により、売上高は154億円（前期比13.5%増）、トルクコンバータのモデル変更に伴うコスト増により、営業利益は9億円（前期比9.1%減）となりました。

[アジア・オセアニア]

アジア諸国の自動車生産が順調に推移していること、バイク用製品の販売が増加したことにより、売上高は116億円（前期比19.4%増）、営業利益は14億円（前期比28.5%増）となりました。

[その他]

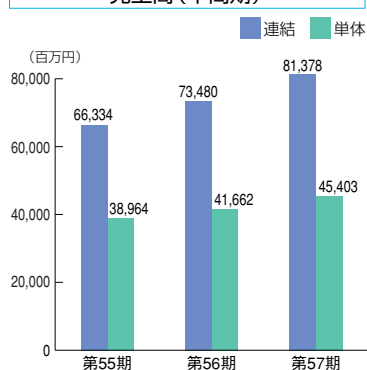
売上高は11億円（前期比23.8%増）、営業利益は1億円（前期比40.1%増）となりました。

②通期の見通し

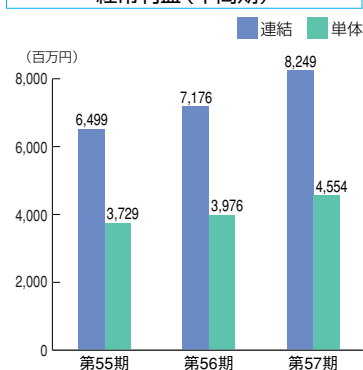
国内市場は、トルクコンバータを主にAT事業の拡大が見込まれますが、米国は市場の先行きに不透明感が増しております。アジア市場は堅調に推移するものと見込んでおります。当社グループといたしましては、燃費向上、低燃費エンジン搭載車両の振動・騒音対策等の環境対応製品の開発を進めるとともに、品質管理を徹底してまいります。収益面におきましては、トルクコンバータの増産に伴う立上げコストの増大を抑制するとともに、さらなる合理化努力により収益を確保する所存であります。

以上により、通期の売上高は1,660億円（前期比8.5%増）、経常利益は160億円（前期比1.7%増）、当期純利益は96億円（前期比2.6%増）を予想しております。

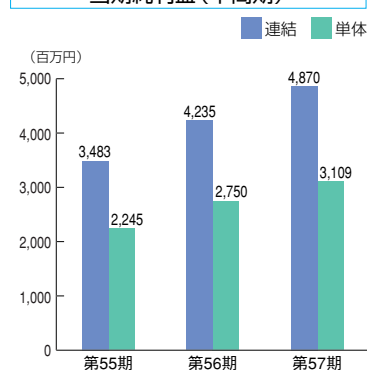
売上高(中間期)



経常利益(中間期)



当期純利益(中間期)



自動車部門

MT（手動変速装置関連事業）

マニュアルクラッチの構成部品であるクラッチディスク、クラッチカバーの開発から加工、組立までを担う事業部門です。特に小型・軽量化の中で高い音振性能を発揮するWAD（ワイドアングルダンパー）やハイドロダンブシステム、スポーツクラッチの開発など、これまでに蓄積してきた技術の上に、さらに新たな製品分野を開いています。



WAD（ワイドアングルダンパー）



クラッチカバー（DSTタイプ）



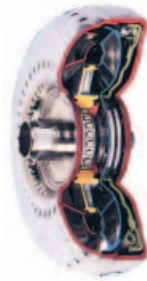
ハイドロダンブシステム



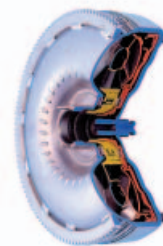
マルチプレートクラッチ

AT（自動変速装置関連事業）

イーゼードライブ時代に向けて、特に重要なトルクコンバータを一貫生産。流体力学に基づいた高効率な小型・超偏平トルクコンバータや、CVTには不可欠のFRU（前後進切換ユニット）では世界最小・最軽量のユニットを開発するなど、つねに新たな製品・技術の開発を通じて、これからのクルマへの提案を行っています。また、ATパーツの開発・製造など、オートマチックトランスミッション全体に、事業分野を広げています。



ユニティトルクコンバータ



超偏平型トルクコンバータ



湿式クラッチアセンブリ

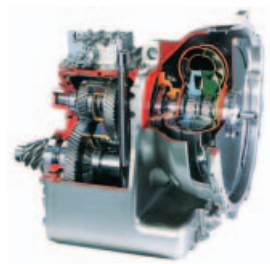


ロックアップダンパー

その他

産業機械用、二輪用等

建設機械から産業車両など、日本の産業を支える車両に向けた製品を供給。オーダーメイドに近い多品種少量生産は、対応性の高さが問われる分野です。主にパワーシフトトランスミッションの開発から加工、組立までを行っており、高品質な製品を市場へ送り出しています。また、自動車用クラッチで培った技術を基盤に東南アジアで市場拡大の続く二輪車用クラッチへと事業分野を拡大しております。



フォークリフト用トランスミッション



二輪用クラッチ

上海にトルコン新工場完成

中国でのAT乗用車生産数の増加を受けて、当社子会社の愛思帝（上海）駆動系統有限公司の敷地内（130,000㎡）に今年10月、トルクコンバータの新工場（床面積は、11,340㎡）を建設いたしました。同社では、昨年6月より乾式摩擦材（クラッチフェーシング）工場が稼動しており、新工場は2棟目となります。

新工場の当初生産能力は年間10万台を予定しておりますが、将来的に60万台／年の生産設備を収容することが可能なスペースを有しており、2007年10月より日系自動車メーカー向けのトルクコンバータを本格量産する予定です。



愛思帝（上海）駆動系統有限公司トルクコンバータ新工場

モスクワ国際モーターショーに初出展

BRICsを中心とする新興国地域で自動車市場が堅調に拡大する中、当社はロシアのモスクワで開催された「MIMS2006（モスクワ国際モーターショー：8月30日～9月3日）」に初出展いたしました。

本展示会へはロシア国内をはじめ、東欧など近隣諸国からも多くの来場者があり、当社ブースのヨーロッパ車向けのクラッチキットや日本車向けのスポーツクラッチにも多くのお客様が関心を寄せてくださいました。

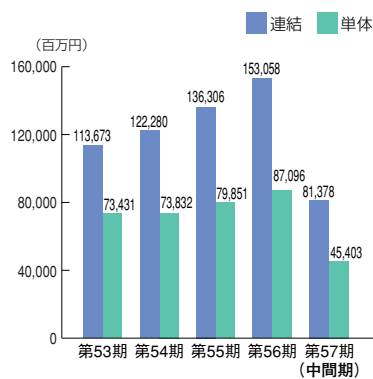
ロシアは日本の中古車が多く、また、世界の自動車メーカー各社が合弁、単独進出、生産委託の形で現地生産・販売を開始するなど、今後の成長が期待できる市場であり、補修用クラッチの拡販、ブランドイメージの浸透を図る上で手応えのある展示会となりました。



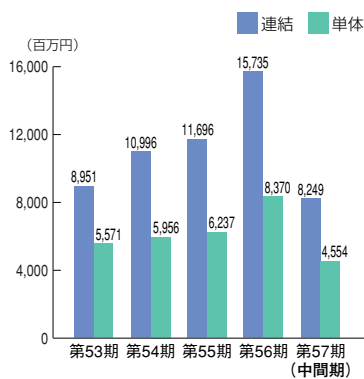
初出展となったモスクワ国際モーターショー

財務データ

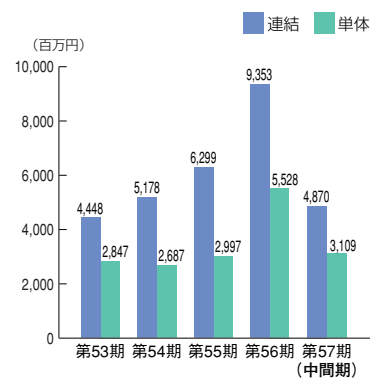
売上高



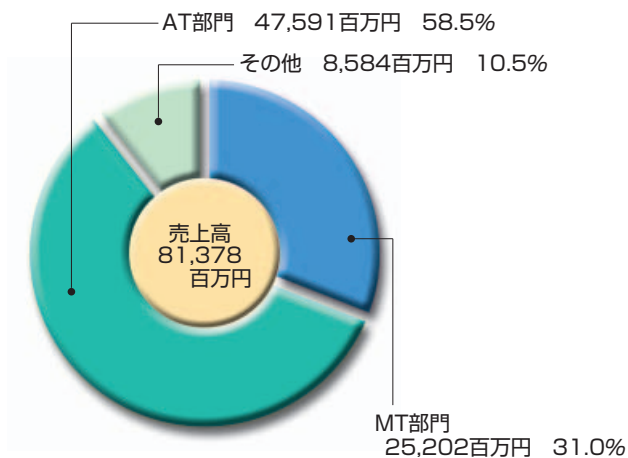
経常利益



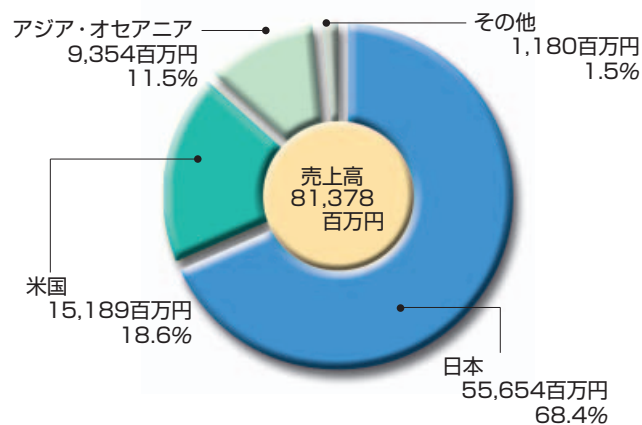
当期純利益



部門別連結売上高構成比 (中間期)



所在地別連結売上高構成比 (中間期)



※各セグメントの売上高は外部売上高を表示しております。

Consolidated Balance Sheets

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	66,033	66,433
現金及び預金	13,918	14,208
受取手形及び売掛金	33,399	32,080
たな卸資産	13,939	14,514
その他	5,998	6,850
貸倒引当金	△ 1,222	△ 1,220
固 定 資 産	68,716	67,007
有 形 固 定 資 産	60,494	57,239
建物及び構築物	16,427	16,081
機械及び装置	25,438	23,864
その他	18,627	17,293
無 形 固 定 資 産	937	974
投 資 そ の 他 の 資 産	7,284	8,793
投資有価証券	2,134	2,705
その他	5,204	6,202
貸倒引当金	△ 54	△ 115
資 産 合 計	134,750	133,440

科 目	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債	29,676	30,667
支払手形及び買掛金	12,674	13,360
短期借入金	5,692	5,341
未払法人税等	2,028	2,351
その他	9,280	9,614
固 定 負 債	11,092	12,513
長期借入金	2,522	2,725
退職給付引当金	6,766	7,183
その他	1,804	2,604
負 債 合 計	40,768	43,181
少 数 株 主 持 分 の 部		
少数株主持分	—	6,334
資 本 の 部		
資 本 金	—	8,284
資 本 剰 余 金	—	8,767
利 益 剰 余 金	—	69,050
その他有価証券評価差額金	—	743
為替換算調整勘定	—	30
自 己 株 式	—	△ 2,951
資 本 合 計	—	83,925
負債、少数株主持分及び資本合計	—	133,440
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	87,082	—
資 本 金	8,284	—
資 本 剰 余 金	8,767	—
利 益 剰 余 金	72,985	—
自 己 株 式	△ 2,954	—
評価・換算差額等	420	—
少数株主持分	6,479	—
純 資 産 合 計	93,981	—
負債及び純資産合計	134,750	—

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Income Statements

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成18年9月期	平成17年9月期
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売 上 高	81,378	73,480
売 上 原 価	63,688	56,813
売 上 総 利 益	17,689	16,666
販売費及び一般管理費	9,614	9,804
営 業 利 益	8,075	6,862
営 業 外 収 益	607	553
営 業 外 費 用	433	239
経 常 利 益	8,249	7,176
特 別 利 益	—	—
特 別 損 失	—	—
税引等調整前中間純利益	8,249	7,176
法人税、住民税及び事業税	2,065	2,087
法 人 税 等 調 整 額	949	417
少数株主利益（控除）	363	436
中 間 純 利 益	4,870	4,235

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Statement of Cash Flow

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成18年9月期	平成17年9月期
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,178	5,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,583	△ 7,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 884	339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 52	173
現金及び現金同等物の増減額	△ 341	△ 1,352
現金及び現金同等物の期首残高	14,511	18,892
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高	12	—
現金及び現金同等物中間期末残高	14,182	17,540

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書の要旨

平成18年9月期

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				株主 資本 合計	評価・ 換算差 額等	少数 株主 持分
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式			
平成18年3月期末残高	8,284	8,767	69,050	△ 2,951	83,150	774	6,334
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 831		△ 831		
利益処分による役員賞与			△ 104		△ 104		
中間純利益			4,870		4,870		
自己株式の取得				△ 3	△ 3		
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△ 354	145
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	3,934	△ 3	3,931	△ 354	145
平成18年9月期末残高	8,284	8,767	72,985	△ 2,954	87,082	420	6,479

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)	科 目	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	37,228	36,997	流 動 負 債	18,711	18,320
現金及び預金	7,171	7,749	支払手形及び買掛金	7,727	8,266
受取手形及び売掛金	21,173	20,437	未払金	1,156	1,844
たな卸資産	4,708	4,762	未払法人税等	1,009	1,089
その他	5,396	5,245	その他	8,818	7,120
貸倒引当金	△ 1,221	△ 1,196	固 定 負 債	6,470	7,884
固 定 資 産	48,280	47,452	退職給付引当金	5,764	6,282
有 形 固 定 資 産	27,052	25,943	長期未払金	550	1,333
建物及び構築物	6,252	6,184	その他	155	268
機械及び装置	12,691	11,025	負 債 合 計	25,182	26,204
その他	8,108	8,733	資 本 の 部		
無 形 固 定 資 産	310	358	資 本 金	—	8,284
投 資 其 他 の 資 産	20,917	21,150	資 本 剰 余 金	—	8,767
投資有価証券	1,376	1,553	利 益 剰 余 金	—	43,435
関係会社株式	14,147	13,676	その他有価証券評価差額金	—	708
その他	5,398	5,967	自 己 株 式	—	△ 2,951
貸倒引当金	△ 4	△ 47	資 本 合 計	—	58,245
資 産 合 計	85,508	84,449	負 債 及 び 資 本 合 計	—	84,449
			純 資 産 の 部		
			株 主 資 本	59,725	—
			資 本 金	8,284	—
			資 本 剰 余 金	8,767	—
			利 益 剰 余 金	45,628	—
			自 己 株 式	△ 2,954	—
			評価・換算差額等	600	—
			純 資 産 合 計	60,326	—
			負 債 及 び 純 資 産 合 計	85,508	—

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Income Statements

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成18年9月期	平成17年9月期
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売 上 高	45,403	41,662
売 上 原 価	36,834	33,071
売 上 総 利 益	8,569	8,590
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,232	5,608
営 業 利 益	3,336	2,981
営 業 外 収 益	1,359	1,118
営 業 外 費 用	140	123
経 常 利 益	4,554	3,976
特 別 利 益	—	—
特 別 損 失	—	—
税 引 前 中 間 純 利 益	4,554	3,976
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	912	1,077
法 人 税 等 調 整 額	532	148
中 間 純 利 益	3,109	2,750
前 期 繰 越 利 益	—	896
中 間 未 処 分 利 益	—	3,647

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書の要旨

平成18年9月期

(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換 算差額等
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式		
平成18年3月期末残高	8,284	8,767	43,435	△ 2,951	57,536	708
中間会計期間中の 変動額						
剰余金の配当			△ 831		△ 831	
利益処分による 役員賞与			△ 85		△ 85	
中間純利益			3,109		3,109	
自己株式の取得				△ 3	△ 3	
株主資本以外の項目 の中間会計期間中の 変動額(純額)					—	△ 108
中間会計期間中の 変動額合計	—	—	2,192	△ 3	2,189	△ 108
平成18年9月期末残高	8,284	8,767	45,628	△ 2,954	59,725	600

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式データ

(平成18年9月30日現在)

株式の状況

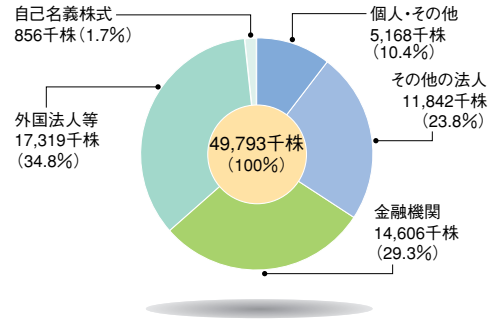
会社が発行する株式の総数	168,000千株
発行済株式総数	49,793千株
株主数	5,887名

大株主 (上位10位)

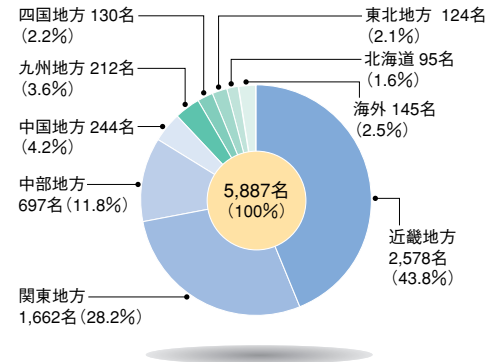
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
アイシン精機株式会社	7,230千株	14.78%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,780	9.77
アイシンホールディングスオブアメリカ	4,500	9.20
アイシンヨーロッパSA	4,500	9.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,488	9.18
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,873	3.83
日野自動車株式会社	1,271	2.60
ダイハツ工業株式会社	1,241	2.54
ザバンクオブニューヨークユーエスベンションファンドグローバルビジネス	1,203	2.46
三菱UFJ信託銀行株式会社	776	1.59

(注) 記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

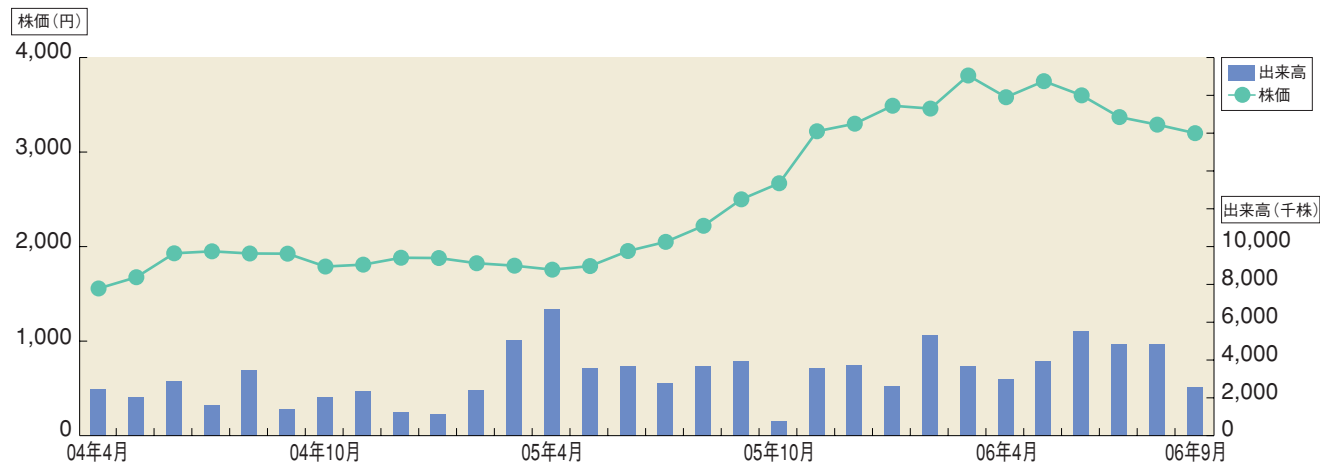
所有者別株式数分布



地域別株主数分布



● 株価・出来高の推移



● 株主優待制度

株主優待制度についてご説明いたします。

対象株主 毎年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録されている100株以上ご所有の株主様

優待制度の概況 株式会社エクセディ チョイスグルメール

カタログよりお選びいただいた旬の味覚や各地の特産品をゆうパックにて無料でお届けいたします。

贈呈時期 毎年6月末から7月初めを予定しております。



工場・営業所及び関連会社所在地

本 社 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号
東京営業所 東京都千代田区岩本町2丁目17番2号 DBS東京
静岡営業所 静岡県富士市荒田島町6番地20号 TBMビル2F
中部営業所 愛知県安城市三河安城町1丁目16番地5 東祥ビル2F
広島営業所 広島県安芸郡海田町栄町6番地6号 DBS広島
上野事業所 三重県伊賀市小田町2418番地
川越工場 埼玉県川越市芳野台1丁目103番25号

株式会社ダイナックス

北海道千歳市上長郡1053番地2号

株式会社ディーケープロナック

広島県東広島市田口研究団地6番11号

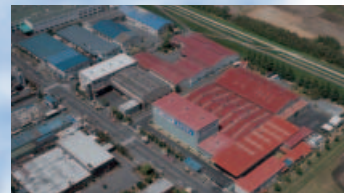


ディーケープロナック



ダイナックス

株式会社ダイナックス ●
 株式会社ディーケープロナック ●
 川越工場 ●
 東京営業所 ●
 静岡営業所 ●
 中部営業所 ●
 上野事業所 ●
 本社及び本社工場 ●
 広島営業所 ●



川越工場



本社工場



上野事業所



エクセディ クラッチ ヨーロッパ



愛思帝（重慶）駆動系統



ダイナックスアメリカ



エクセディタイランド



エクセディアメリカ

- ①エクセディホールディングスオプアメリカ EXEDY Holdings of America Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.
- ②エクセディグローバルパーツコーポレーション EXEDY Global Parts Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.
- ③エクセディアメリカ EXEDY America Corporation
2121 Holston Bend Drive Mascot, TN 37806 U.S.A.
- ④ダイナックスアメリカ DYNAX America Corporation
568 East Park Drive Roanoke VA 24019 U.S.A.
- ⑤エクセディダイナックスアメリカ EXEDY -DYNAX America Corporation
8601 Haggerty Road South Belleville MI 48111, U.S.A.
- ⑥エクセディオーストラリア EXEDY Australia PTY, Limited
21 Fiveways Boulevard Keysborough, Victoria 3173, AUSTRALIA
- ⑦愛思帝（重慶）駆動系統 EXEDY Chongqing Co., Ltd.
中国重慶市南坪経済技術開発区桃源路158号
- ⑧上海達耐時汽車配件 Shanghai DYNAX Corporation
中国上海市松江區東興路1号
- ⑨達耐時工業（上海）DYNAX Industry (SHANGHAI) CORPORATION
中国上海市松江區輸出加工区松開III-24号
- ⑩愛思帝（上海）駆動系統有限公司 EXEDY (Shanghai) Co. Ltd.
中国上海市奉賢区工業総合開発区M6ブロック
- ⑪愛思帝（広州）駆動系統有限公司 EXEDY Guangzhou Co., Ltd.
中国広州市永福路45号大院西側広州隆福汽車配件中心E区401-405号
- ⑫エクセディタイランド EXEDY (THAILAND) Co., Ltd.
700/316 Moo 6, Bangna-Trad Road, Tumbon Don Hua Roh, Amphur Muang Chonburi 20000, THAILAND
- ⑬エクセディフリクションマテリアル EXEDY Friction Material Co., Ltd.
700/359 Moo 6, Bangna-Trad Road, Tumbon Don Hua Roh, Amphur Muang Chonburi 20000, THAILAND
- ⑭エクセディマレーシア EXEDY (MALAYSIA) SDN. BHD.
PT16748, Jalan Permata 1/5, Arab-Malaysian, Industrial Park Nilai, 71800, Negeri Sembilan, MALAYSIA
- ⑮エクセディインドネシア P. T. EXEDY Indonesia
Jl. Pegangsaan Dua Km2 No.64 Kelapa Gading Jakarta Utara 14250 INDONESIA
- ⑯エクセディモーターサイクルインドネシア P. T. EXEDY Motorcycle Indonesia
JIEP Industrial Estate Jl. Pulo Buaran, Blok III 8-9 Pulo Gadung, Jakarta Timurading, INDONESIA
- ⑰シーケーダイキン Ceekay Daikin Limited
N.K.M International House, 4th Floor, 178 Babubhai M.Chinai Marg, Mumbai 400 020 INDIA
- ⑱エクセディクラッチヨーロッパ EXEDY Clutch Europe Ltd.
Unit 2, Rokeby Court, Manor Park, Runcorn, Cheshire WA7 1RW, U.K.
- ⑲ユーロエクセディクラッチ Euro EXEDY Clutch Limited
2800 Tatabanya, Buzavirag ut.4, HUNGARY
- ⑳エクセディミドルイースト EXEDY MIDDLE EAST FZCO
P.O. BOX 18199, Jebel Ali Free Zone, Jebel Ali Dubai, U.A.E.
- ㉑エクセディベトナム EXEDY Vietnam Co., Ltd.
Khai Quang Industrial zone, Vinh Yen Town, Vinh Phuc Province, Socialist Republic of Vietnam

株主メモ

決算期日	毎年 3月31日 年1回決算
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、金銭による剰余金の配当を支払う。
中間配当	毎年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、会社法第454条第5項に定める剰余金の配当を行う。
定時株主総会 株主名簿管理人	毎年 6月 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話（フリーダイヤル）0120-094-777
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ 信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っ ております 電話（フリーダイヤル）0120-244-479（証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 掲 載 新 聞	大阪市において発行する日本経済新聞に 掲載する
